

かさま 社協だより

No.38



編集・発行 2019.3.31

社会福祉法人笠間市社会福祉協議会広報委員会 笠間市美原3-2-11 TEL.0296-77-0730
E-mail info@kasama-syakyo.jp URL http://www.kasama-syakyo.jp/



岩間地区女子会「なごみ」

撮影 畠山

もくじ

- ① 第7回笠間市社会福祉大会 2
- ② ふれあいサロン女子会「なごみ」・配食サービス・ちょっといい話... 3
- ③ 社協からのお知らせ・地域共生をめざして 4～5
- ④ ボランティアセンターだより 6～7
- ⑤ お知らせ 8



この広報誌は共同募金の配分金を受けています。

第7回笠間市社会福祉大会

ボランティア6団体と個人34人が表彰・感謝を受ける

去る1月26日、笠間市笠間公民館で、福祉活動にたずさわる人々が集い、第7回笠間市社会福祉大会(2年に1回)が開催されました。

今回は、2団体・34人が笠間市社会福祉協議会会長より表彰されました。また、善意銀行への寄付で、4団体に感謝状が贈られました。

大会宣言後、お笑い芸人のコント山口君と竹田君による「ボケないためにボケまくる!」これがボケないための常備薬」と題する記念講演をいただきました。

- 笠間市社会福祉協議会
会長表彰
- 民生委員・児童委員
- 鈴木 守正 (笠間地区)
 - 竹江 邦夫 (笠間地区)
 - 鈴木 進一 (笠間地区)
 - 海老沢照子 (笠間地区)
 - 横堀 松壽 (笠間地区)
 - 鶴田 信晃 (友部地区)
 - 生天目純子 (友部地区)
 - 堤 徳郎 (岩間地区)
 - 南指原孝夫 (岩間地区)
 - 岸 吉旦 (岩間地区)

福祉施設団体役員

- 伊藤 健一 (社団法人聖桜会)
- 鶴田 弘司
- 山口 武子
- 萩野谷幸三
- 柳橋 忠廣
- 鈴木 裕士
- 小澤 俊郎
- 仲田 哲夫
- 根本 玄
- 菅野 音次
- 笠嶋 和男
- 鈴木 征夫
- 久保田満子
- 柴田 良子

山桜会 (笠間地区)

- きんもくの会 (友部地区)
 - 心配ごと相談員
 - 菅谷 修 (笠間地区)
 - 塩畑 一洋 (笠間地区)
 - 大月 裕美 (笠間地区)
 - 鶴田美代子 (友部地区)
 - 真家 明夫 (岩間地区)
- 支部地区社協
- 幾浦 忠男 (宍戸支部)
 - 羽生 力 (宍戸支部)
 - 橋本由合子 (東支部)
 - 井坂フヂエ (中央支部)
 - 納 米次 (大旭支部)

笠間市社会福祉協議会
会長感謝

- 善意銀行への寄付
- バザー夢工房
 - 笠間市チャリティゴルフ大会
 - 実行委員会
 - 友部支部
 - 水戸ヤクルト販売株式会社 (順不同・敬省略)



岩間地区
楽しくなごやかに
ふれあいサロン女子会「なごみ」

ふれあいサロン女子会「なごみ」が2月25日(月)日吉町東区公民館で行なわれました。毎月第2・第4月曜日開催(午前10時~12時)で第2月曜日は「笑いヨガ」を中心に、第4月曜日は手芸・料理を中心にしたもの代表の堀江優子さんにお聞きしました。

当日は9人参加(現在登録は18人)で季節柄「ひな飾り」を制作していました。はまぐりを使った「ひな飾り」で貝に型紙で作った帯地のような布地を着せていくと



貝びなを作っています



ひな祭りが楽しみ

可愛い「貝びな」ができます。はまぐりの貝を使うのは2枚の貝がぴったりと合い、他の貝がらとは組み合わせることが出来ないため、夫婦和合の象徴とされているそうです。私は、つるしびななどはたくさん見てきましたが、「貝びな」を見るのははじめてだったので感心しました。楽しそうに制作してる皆さんと可愛らしい「貝びな」を見て気持ちがあほりしました。(石郷岡)

友部地区
配食サービス特集③

「みちくさ」(毎月第1・第2土曜日)に年間2600食を調理から配達まで、ご協力をいただいております。

事前に管理栄養士を交え栄養バランス、食材を考え「季節の食材入れてみよう」「やわらかく食べられる食材にしよう」など、食べてくださる方のお顔を浮かべながら話し合い献立をたてています。また、お弁当のかけ紙には、き



ボランティアサークル「みちくさ」



れいに色ぬりがなされ、献立も書かれており、心のこもった美味しいお弁当を作ってくださいいております。

配達では、必ずお会いしてお弁当を手渡しすることになっていきます。渡せない時は、家の様子(鍵、新聞入れなど)を見ていただき、帰ってから、電話をかけた後、民生委員さんにつなげています。こうした活動を通して、ボランティアの交流はもちろん地域を支える原動力となっております。

笠間・岩間・友部各地区の「配食サービス」を特集しました。この他に、各支部(地区)などで独自に行っている「配食サービス」もあります。



記念講演 講師 コント山口君と竹田君
演題 「ボケないためにボケまくる!」
これがボケないための常備薬!

は二人の息が合わずに苦労したこと等をユーモア溢れる語り口で面白おかしく紹介。また、昔と人間関係が変わってきたと前置きして、今時の若者像を切り取った離婚劇をネタにコントを披露。満員の会場からは終始笑い声が上がり笑いのうちに講演が終了した。

式典後、一時間半にわたり「コント山口君と竹田君」による記念講演が行われた。ストリップ劇場に勤めていた山口君と秋葉原の電気街に勤めていた竹田君が出会ってからコンビを組むまでのこと、コンビを組んだ一年目に「お笑いスター誕生」という番組で優勝したこと、本格的にコメディアンとしてデビューした後、他人の金銭問題で苦労したこと、さらにコンビを組んだ当初は二人の息が合わずに苦労したこと等をユーモア溢れる語り口で面白おかしく紹介。また、昔と人間関係が変わってきたと前置きして、今時の若者像を切り取った離婚劇をネタにコントを披露。満員の会場からは終始笑い声が上がり笑いのうちに講演が終了した。

《お笑い芸人 コント山口君と竹田君 プロフィール》

山口君は埼玉県出身、竹田君は東京都出身。コンビを結成した当初は35年もコンビを組むとは思っていませんでしたが、今では光と影のようにならぬ存在となり仕事も楽しいと話す二人。いまなお、切れ味鋭いコントグループとして活躍し全国に多くのファンを持つ。1983年にお笑いスター誕生で優勝した後、ゴールデンアロー新人賞、日本放送演芸大賞最優秀ホープ賞、花王名人大賞などを受賞している。

・人前でボケたふりをして人を笑ませる。ボケたふりをするのは頭を使うし聞いた人も優越感を感じて笑いが生まれる。
・人の身体は歳を取ると自然に下を向くが口角を上げて笑えば脳が刺激を受ける。いつも笑顔を保つことが大事で笑いは良い出会いにも恵まれる。
・起きてから鏡を見ると一日が楽しくなり、人に笑顔で話しかけたくなる。笑顔は他人に伝染するし笑いは健康にもつながる。
・ボケないためには脳の刺激が大切で、例えばどこかへ行った帰りは同じ道を通らないようにするとか、面倒なことでも面倒がらずにやってみる。
・発想の転換が大切で、例えば歳を取ったら「若さから解放された」と思い、動きが鈍くなった「動きに無駄がなくなった」と思う。
・いつでも笑顔で前向きに考えることが大切...等。(白土)

ちよっといい話

笑いを取り入れると、低年齢からの学習効率が高くなるとの研究が米国で行われました。私も専門学校で講義をする際、リラックスした環境で行えるよう努めています。その方が課題のびのびと取り組めるようです。

これは大人にも当てはまることだそう。神経科学において、笑いがドーパミン報酬システムを活性化することが明らかになっています。ドーパミンとは脳の神経伝達物質の一種で、やる気や長期記憶にも大切であることが認知力の研究で証明されています。古くから伝わる諺(ことわざ)にも「笑い」に関するものが沢山あります。

- ・笑いは人の薬
- ・笑って損した者なし
- ・笑う顔に矢立たず
- ・笑う門には福来る

他にもありますが、泣いて喜らすも一生、笑って喜らすも一生。楽しく人生を送ることは、良いこと尽くめです。(入江)

日常生活自立支援事業

あなたのくらしを守るお手伝いをします！

福祉サービスの利用手続きや、金銭管理のお手伝いをし、あなたがいきいきと安心して暮らせるようにサポートします。

この事業は、利用者本人と契約によりサービスの提供を行います。判断能力が低下し、契約を結ぶない方は成年後見制度を利用することによりサービスの提供が行われます。

相談の流れ

まずは相談してください
本人以外でも、家族などを通じての問い合わせにも対応いたします。

担当者(専門員)が伺います
専門的な知識を持った専門員が自宅や施設、病院などを訪問し、相談に応じます。

お困りのことを一緒に考え、支援計画を作ります
困っていることや希望をお聞きして、どのようなお手伝いをどれくらいの頻度で行うかなどをご本人と一緒に考えます。契約内容・支援計画を提案します。

利用契約を結びます
契約内容に間違いがなければ、利用契約を結びます。

サービスが開始されます
支援計画にそって、担当職員がサービスを提供します。



困った時は、相談してください

社協からのお知らせ

相談先 笠間市社会福祉協議会 生活支援グループ
住所 笠間市美原3-2-11
電話番号 0296-177-10730



地域共生についての説明を聞く

地域共生社会をめざして

～ともに支え合う地域づくり～

厚生労働省から、誰もが住みなれた地域で生きがいをもって暮らし、ともに支え合う「地域共生社会の実現」を目指そうと提起されました。

◆地域づくりに参加しよう

「地域共生社会」とは何か。制度や分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域に住む人たちが、地域の多様な活動を自分の事としてとらえ、自分たちの暮らしを豊かなものにするために、一人ひとりが地域づくりに参加し、共に創っていく社会のことです。

◆地域の課題をみつければ

どんなことをすればいいのか。まずは、自分の住んでいる地域のことに関心をもつことです。関心をもつことで、自分の住んでいる地域の課題をみつけることができます。

◆できることは自分たちで

自分たちで何ができるか、何をすれば地域が豊かになるかを考えます。そして、行政・福祉・医療など、地域の様々な組織と協力しながら、一緒に地域づくりをしていきましょう。サービスを待つのではなく、

11/20 たけのこ中央支部社協交流会

11月20日(火)、笠間市障害者福祉センターともべ「たけのこ」と中央支部社協の交流会が行われました。

毎年行っている行事で、今年度は中央支部社協から10人の方に参加いただき、たけのこ利用者14人と一緒にダンボールクリスマスツリーを制作しました。各ペアに分かれ、ダンボールを切り抜く作業から行いました。それぞれ楽しく会話をしながら、思い思いの作品を仕上げるものが出来ました。

その後は、美味しいお弁当と一緒に食卓、会話が弾み、アツという間に時間が過ぎていきました。

以前には、そば打ちやパーベキューなどを実施したり、バスで工場見学や観光に出掛けたりもしました。

顔見知りの方も増え、たけのこ利用者が「休日の時に中央支部の〇〇さんが声をかけてくれたよ！」と嬉しそうに報告してくださることが



地域で守る

大橋支部懇談会

大阪万博が開かれる2025年には団塊の世代が75歳を迎える。働く世代が減少し(15歳〜64歳)、介護職が38万人が不足し、社会保障費も不足してくるそうです。

市内のある地区は、高齢化率が50%を越えているそうです。そこで「みんなが安心して生活できる地域づくりを目指して」のテーマで、2月17日(日)第一回大橋支部の懇談会が大橋公民館で開かれた。

参加者18人は3グループに分かれ「大橋地区を考えてみよう」の「こんな〇〇があったらいいな！」について思い思いの意見を出し合った。

高年齢者については、
○買い物移動販売の品数や販売所を増やし、週2回来てほしい
○ひとり暮らしの高齢者には、日頃からの見守り活動と、日常生活への支援

定期的顔を合わせるサロン(まとめ役が必要)や困った時に相談できる場所
○敬老会など行事への参加の送迎サポート



グループに分かれての話し合い

子どもについては
○病院や買い物などへの支援
○東小学校跡地を利用し、高齢者も見守る場
地域については
○地域防災組織づくり
○ホタル観賞のできる豊かな自然環境の整備
○地域でのコミュニケーションを密に

このマークのついている事業は赤い羽根共同募金が活用されています。

多くなりました。今回制作したダンボールツリーは、昨年12月に開催された「第13回笠間市ふれあい作品展」に出展し、市民の皆様にもたけのこ利用者の力作をご覧いただくことが出来ました。今後も支部社協との交流会を通し、障がい者への理解を深めていただけていきたいと思います。

案内	心配ごと相談所	
	2019年5月より、心配ごと相談所の開設日程が変更となります。	
	変更前(4月まで)	変更後(5月より)
笠間	毎週火曜日	第2・4火曜日
本所	毎週水曜日	第2・4水曜日
岩間	毎週木曜日	第1・3木曜日

※お盆(8/13~8/16)や年末年始(12/28~1/5)はお休みです。

2019年度 心配ごと相談所開設日程表

日常の困りごとなど何でも相談してください(無料・秘密保持)
時間: 13:00~16:00 (受付は15:30までをお願いします)

場所	笠間支所	本所	岩間支所
4月	2日・9日・16日・23日	3日・10日・17日・24日	4日・11日・18日・25日

※5月から開設日が変更になります。

月	笠間支所 [第2・4火曜日]	本所 [第2・4水曜日]	岩間支所 [第1・3木曜日]
5月	14日	28日	8日 22日 2日 16日
6月	11日	25日	12日 26日 - 20日
7月	9日	23日	10日 24日 4日 18日
8月	-	27日	- 28日 1日 -
9月	10日	24日	11日 25日 5日 19日
10月	8日	22日	9日 23日 3日 17日
11月	12日	26日	13日 27日 7日 21日
12月	10日	24日	11日 25日 5日 19日
1月	14日	28日	8日 22日 - 16日
2月	-	25日	12日 26日 6日 20日
3月	10日	24日	11日 25日 5日 19日

法律相談	笠間支所	本所	岩間支所
	第3金曜日 10:00~12:00	第1金曜日 10:00~12:00	第2金曜日 10:00~12:00

※法律相談は、事前に心配ごと相談へご相談ください。



ミニ運動会 (岩間地区)

ボランティア

住みよいまちづ

センターだより

くりを目指して

「第一火曜日の会」では、おやつ作り講座を実施しました。また社協では子育てママの応援講座とふれあい訪問事業を実施しました。いきいきとした製作活動や高齢者との触れ合いなどの報告を掲載しました。ボランティア連絡協議会交流会が岩間・笠間・友部の3地区でそれぞれ開催され、ボランティアの交流が深まりました。また、笠間市ボランティア連絡協議会研修会では認知症に関する講演や寸劇で認知症の認識を深めました。

平成30年度 ボランティア連絡協議会交流会

ボランティア連絡協議会は各地区ごとに組織されたボランティアの仲間づくりや交流を深めています。

【競技に「喜一憂」】
2月15日(金) 岩間支部の交流会として「ミニ運動会」を開催しました。初めての試みの為、内容を決定するのにもいろいろと悩み、打ち合わせを重ね、参加者が楽しんで行える競技を選び、運動会らしい雰囲気も取り入れながら、輪投げ、風船割り、パン

食い競争、ボール送りに決まりました。当日は、サークルに関係なく赤・白・青・黄の4つのチームに分かれ、競技が始まる前から早くもチームごとに盛り上がりました。それぞれの競技に「喜一憂」しながら、チームの仲間と協力し、楽しく競技を進め、最後は皆で、昔懐かしいジャンカを踊り、閉会式でおのおの賞品が贈られました。これから健康に気をつけ、共に楽しみながら、充実した活動が続け、ひとりでも多くの方に参加していただき、ボランティアの輪が広がっていくことを願っています。

平成30年度 笠間市ボランティア連絡協議会研修会

と き：平成30年12月22日(土) ところ：友部公民館「大ホール」



「病院へ行ってきました」



「デイサービスに行かない」

【劇団「くわ」の演技に納得！】
12月22日、友部公民館でNPO法人認知症ケア研究所「劇団くわ」の皆様による認知症に関する講演と寸劇が行われました。「鬼嫁さん」客席からの掛け声で鬼嫁に扮した女性が登場。認知症の様々な症状や病から起こる日常生活の障害について、ダメと強く言わない、特別な人と思わないでやさしく接する、予防は普段の生活を見直し、外に出る機会を多くし、人と接することが楽しくなるよう生活をするなど話を結ばれました。続いて演目「魚がない」「デイサービスに行かない」「病院へ行ってきました」「虐待」の4つの寸劇がありました。素人離れした演技は笑いあり、時には切なさも伝わり、あつという間に時間が過ぎました。認知症は私たちの身近なところでも耳にするようになってきました。地域で支えあって認知症の方も家族も皆が安心して過ごせる街になってほしいと願うばかりです。

【3/25 友部地区 ボランティア大集合】
友部小学校体育館
【10/3 笠間地区 輪投げ大会】
笠間市民体育館
笠間支所のボランティア交流会は今年度で5回目となる「輪投げ大会」を176人が35チームに分かれ、グループ対抗戦を行いました。

【問い合わせ先】
笠間市ボランティアセンター
TEL 0296 (78) 2626



【材料】
いちご3個・こしあん60g・白玉粉40g
砂糖20g・水50cc・片栗粉適宜

3個作り、1つは抹茶といっしょに食べました



1本、1本心をこめて
届けていただきました。

【第一火曜日の会】
3/5 いちご大福づくり
25人参加
笠間地域福祉センターいわま2階調理室で、管理栄養士の小澤美智子先生と「いちご大福づくり」をしました。「第一火曜日の会」では、4年振りとなりますが、申し込みが多く、メ切り日を数日繰り上げて抽選となりました。調理室は春を感じさせる苺の香りいっぱいになりました。岩間のボランティアさん2人が抹茶をたててください、自分で作りたいご大福を食べながら、参加した方は、ほっとしたひとときを過ごすことができました。

【H30年度 子育てママの応援講座】
2/21(木) 手提げ袋 7人参加
3/7(木) シュニス袋 8人参加
会場：地域福祉センターともべA館
講師はボランティアサークル「バザー夢工房」のみなさん。お子さんの託児も準備され、安心して作品を仕上げる事ができました。
【H30年度 ふれあい訪問事業】
笠間市内、70歳以上のひとり暮らしの高齢者1840人。ボランティアの協力をいただき、「モップ」と鉛筆、市内各小学校(4~6年生)から寄せられたメッセージカードを添え民生委員が各家庭を訪問し、お届けしました。

2019年度 ボランティア講座の募集について

講座名	開催日時	開催場所	講座について
傾聴ボランティア講座	6/19(水)・6/26(水)・7/3(水) 9:15~12:15	笠間地域福祉センターともべA館	相手の気持ちを受け入れ、心を込めて聞くための学習です。
女性の食事学講座	6/6(木)・6/20(木)・7/4(木)・7/18(木) 9:30~13:00	笠間地域福祉センターともべA館	配食弁当を作るためのボランティア養成が目的の講座です。調理を通して、食に対する知識や安全性を学んで楽しく活動してみませんか。最終日には、皆さんで食事会を実施し親睦をはかる予定です。
男性の食事学講座	6/11(水)・6/25(水)・7/9(水)・7/23(水) 9:30~13:00	笠間地域福祉センターいわま2階	

友部ボランティアセンター TEL 0296-78-2626 FAX 0296-78-2626
笠間支所 TEL 0296-73-0084 FAX 0296-72-3722
岩間支所 TEL 0299-45-7889 FAX 0299-45-6250

その他の講座は、決まり次第「広報かさま お知らせ版」に掲載します

2019年度「第一火曜日の会」の予定

年月	内容	時間	場所
6月	施設見学	10:00~12:00	心の医療センター、やすらぎ喫茶
9月	スペシャル	10:00~14:00	笠間地域福祉センターともべA館
12月	工作	10:00~12:00	社協笠間支所
3月	もの作り	10:00~12:00	笠間地域福祉センターいわま

問い合わせ 笠間市社会福祉協議会ボランティアセンター TEL 0296-78-2626
詳しくは、「広報かさま お知らせ版」をご覧ください



善意の寄附を「ありがとう!!!」

(善意銀行預託)



平成30年11月1日～平成31年2月28日まで (順不同・敬称略)

物 品

エコキャップ、使用済み切手等

いわま保育園
額田 義文
おしのべ保育園
友部自動車学校
大原小児童クラブ (ポプラの会)
泰栄電器株式会社
ともべ保育所
県立中央病院
(施設課・消毒室・リネン室)
すみれこども園
児山 甚子
笠間ゲートボールクラブ
笠間市農業委員会
常陽銀行 笠間支店 職員一同
ありんこ
土師地区社会福祉協議会
みなみ学園児童クラブ
森田屋
旭台睦会
稲田小児童クラブ
笠間高等学校 JRC部
めぐみこども園
物井 彩雲
笠間陽だまり館
山中 としい
ナブコシステム株式会社 茨城支店
ひまわり保育園

友部小学校児童会
イチカワユニオン岩間支部
持丸 一幸
ともべ幼稚園
岩間第一小学校
友部郵便局
セキスイハイム工業株式会社 関東事業所
友部高等学校
こじか幼稚園
みか保育園
有限会社伊藤石材工業
岡本興業株式会社
岩間第一小学校児童クラブ
いなだこども園
有限会社笠間給食センター 従業員一同
生長の家茨城県教化部 白鳩会
穴戸小学校児童クラブ
大沢保育園
有限会社 清水工務店
稲田中学校 環境福祉委員会
友部東特別支援学校
アオトプラス株式会社 友部工場
故 高橋 龍己
匿名
日用品等
高齢者クラブ原宿会
笠間市手をつなぐ育成会
匿名

育児・介護用品等

萩谷 憲一
水戸ヤクルト販売株式会社
川上 美奈子
匿名

娯楽用品等

こつゆつ会 姫殿会
小林 俊江
河原井 美智子

食品等

笠間市農業委員会
羽持 正夫
上郷地域うまい米づくり研究会
匿名

金 銭

ニューサウンズオーケストラ	¥30,000
笠間エス・シー協同組合	¥1,620
海藤 全弘	¥7,850
河本 昭三	¥30,000
やま里倶楽部	¥24,928
常陸農協 笠間地区花き部会	¥20,000
笠間市あすなろ友の会	¥7,955
常井 幸子	¥5,357
有限会社笠間給食センター 従業員一同	¥7,621
匿名	¥60,147

フードバンクへの御協力 ありがとうございました

H29年 H30年

	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
米	9.5	0	0	0	0	0	0
食品	39.8	43.8	51.5	18.4	58.4	23.3	9.3

H30年 H31年

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
米	0	0	13.4	65.6	0	0	13.0
食品	14.0	17.4	35.1	53.8	27.4	35.2	77.9

(単位: kg)

平成最後の広報誌をお届けいたします。皆さまのお手元に届く頃には「新元号」が発表されていることでしょうか。振り返ってみますと、平成11年から広報委員になり、早いもので20年。その間多くの方と出会い、沢山のご指導を受けて今日があります。感謝の心でいっぱいです。これから新しい時代に向かい、新企画なども取り入れて愛される「社協だより」を目指していきたいと思っております。

(関)



2019年度 心配ごと相談所開設日程表

日常の困りごとなど何でも相談してください(無料・秘密保持)

時間: 13:00~16:00 (受付は15:30までにお願いします)

月	笠間支所 社協笠間支所	本 所 地域福祉センターともべ (旧友部社会福祉会館)	岩間支所 地域福祉センターいわま (旧岩間保健センター)
4月	2日・9日・16日・23日	3日・10日・17日・24日	4日・11日・18日・25日

※5月から開設日が変更になります。

	笠間支所 [第2・4火曜日]	本 所 [第2・4水曜日]	岩間支所 [第1・3木曜日]
5月	14日 28日	8日 22日	— 16日
6月	11日 25日	12日 26日	6日 20日
7月	9日 23日	10日 24日	4日 18日

法律相談 ※法律相談は、事前に心配ごと相談へご相談ください。

笠間支所	本 所	岩間支所
第3金曜日 10:00~12:00	第1金曜日 10:00~12:00	第2金曜日 10:00~12:00

お問い合わせ先	本 所 TEL.0296-77-0730 FAX.0296-78-3933
社会福祉法人	笠間支所 TEL.0296-73-0084 FAX.0296-72-3722
笠間市社会福祉協議会	岩間支所 TEL.0299-45-7889 FAX.0299-45-6250